

ディスプレイコレクション

新登場

DigiQ TRAIN
TRAINING™

© 2003 KONAMI

text:RMM/photo:羽田 洋(特記以外)
取材協力:コナミ株式会社

▶スラリ並んだ
ディスプレイコレクションの205系。



コナミ・デジQトレンに新しい仲間が加わった。その名もディスプレイコレクション。まもなく発売される第1陣のテーマはご存じ205系。それも10編成、全32種が一挙にリリースされるから集め甲斐がある。専用の動力車も同時に発売されるというから楽しみだ。デジQトレンの新しい楽しみを切り開く強力新シリーズの全貌に迫ってみよう!

デジQトレン・ディスプレイコレクションはラムネ付・ブラインドパッケージのいわゆる玩具菓子の形で発売される。価格は1ヶ300円で、車輦1輦、ラムネ、66mm長のレール1本が入っている。初回ラインナップは205系全10編成で、その内訳は山手線・横浜線・埼京線・京葉線・武蔵野線・南武線・中央総武線新行・京浜東北線・仙石線および仙石線2WAYシート仕様となっている。各編成には先頭車・パンタ付中間車・パンタ無し中間車の3種があるが、仙石線仕様は2編成は先頭車の片方がトイレ付となっている(2WAYシート仕様では塗色も違う)の4種ずつ。したがって全32種類ということになる。通常のデジQトレンと同様に4輦編成が1応の基本だが、さらなる長編成化も自由自由だ。

専用の205系単体動力車も同時発売される。通常のデジQトレンに組み込まれているものと同様の動力ユニット付の中間車で、価格は1,980円。もちろんディスプレイコレクションのラインナップに合わせ10種類が用意されている。

発売は共に9月29日だが、ディスプレイコレクションは玩具菓子として主にスーパー・コンビニなどで販売されるのに対し、専用動力車は通常のデジQトレン取扱い店で購入できる。また専用

動力車は限定商品なので注意が必要だ。

さてさて205系はバリエーションも多いし、最近は転属に伴う改造なども種々見られるモデラー注目の一族だ。手軽に、しかもバラの車輦が入りできるディスプレイコレクションは、改造などにも取り組みやすい。動力車を複数組み込んで、実物同様の長編成にチャレンジするのも面白いだろう。また今回のラインナップには含まれていない題材の製作にも心そそられる。京葉線の一般顔とか、南武支線の小編成とか…。ウーン、楽しそう!

先日国際鉄道模型コンベンション会場のコナミブースで行なわれた先行販売でもはたまた間に売り切れてしまい、悔しい思いをした人もあるかもしれないが(御来場ありがとうございました!)、待ちに待ったデジQトレン・ディスプレイコレクションと専用動力車の1,980円、もうまもなくだ。



▶専用動力車10種も同時発売される。限定品なので注意が必要だ。価格は1,980円。



▶▶仙石線仕様の先頭車はちゃんと1枚の有無を切り分けた2種類を用意。



▶カラフルな205系が集合。中央の仙石線2WAY仕様車は、実物同様に4輦すべてカラーリングが異なる。

JR九州&西武も発売間近



▶第5弾車輦となるJR九州の特急車輦3種が勢揃い。発売は9月25日。各3,800円(JR九州承認済)

▶続いて10月には西武鉄道10000系が発売が控えている。(西武鉄道商品化許諾済)



デジQトレンの第5弾車輦となるJR九州の特急トリエ、787系つばめ、883系ニック、そして885系かめもの発売もいよいよ間近の9月25日に迫ってきた。価格は各3,800円。また話題の西武鉄道10000系ニューレッドアローの発売も10月9日に発売予定。お楽しみに!

速報! 鉄道の日EF58 61 限定発売!



▶鉄道フェスティバル限定のEF58 61。機関車車体での発売となる。

今年も10月14日、鉄道の日を記念して10月11・12日に日比谷公園で開催される「鉄道フェスティバル」会場において、なんとEF58 61が限定発売されるという情報が飛び込んできました! ご覧のように独特の塗装や、各部を磨き出した美しい外観を再現したまさに得難いモデル。合わせて未発表の車輦サンプルも目見えするというから見逃さないゾ! また、10月9日~12日に東京ビッグサイトにて開催される全日本模型 Hobby Show にもデジQトレンの出版が決まっているゾ! 鉄道のイベントも開催すな!